

Taka Gikai



多可町議会だより
2023年(令和5年)8月1日 第71号

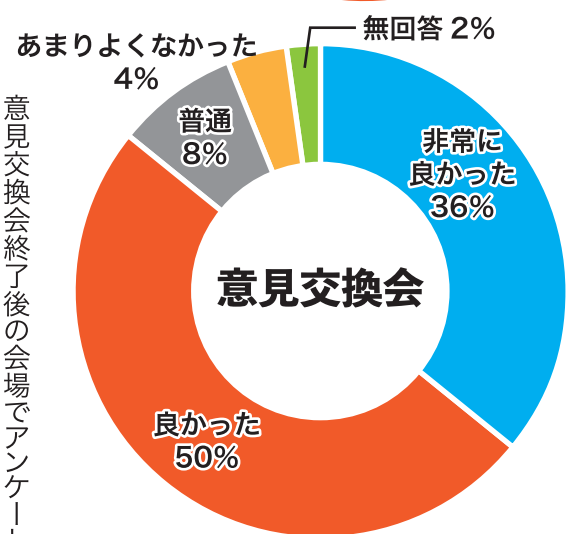
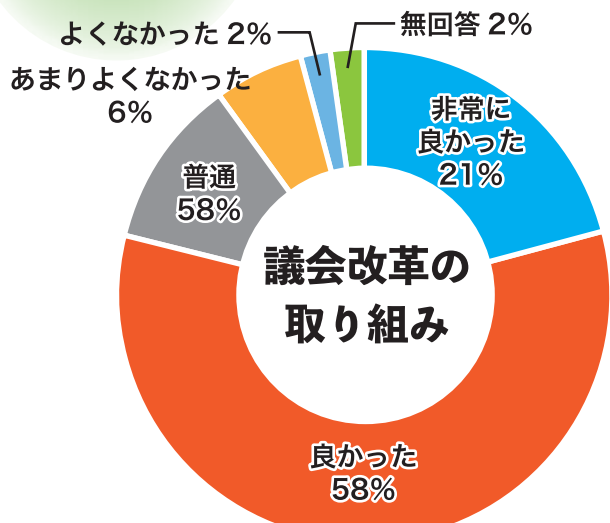


きらきらひかる

6月定例会

- ・皆さんと共に歩む議会を ▶2
- ・共に支え、笑顔を育む 6月補正 ▶4
- ・ここが聞きたい 13人が一般質問 ▶8

皆さんと共に歩む



意見交換会終了後の会場でアンケートをとった結果、議会改革の取り組みや意見交換会は概ね好評でした。

共につくる、未来の議会

参加者3人ずつによるグループワークを交え、議会改革の意見を活発に出し合ってもらい、グループごとに意見交換した内容を発表してもらいました。

また、アンケートや自由意見もお願ひして、「共につくる、未来の議会」の一步となりました。

自由意見

- ★ 今回の意見交換会の参加者に若いメンバーや女性が集える工夫をしてほしい。
- ★ 子ども中心の政策をしてほしい。
- ★ 議員が政策を持つて活動してほしい。
- ★ もう少し議員としての仕事は何かを勉強してほしい。

- ★ 議員との会話ができる機会を作ってほしい。
- ★ 各集落に出向き、住民の意見を聞く機会を作って下さい。
- ★ 町当局と住民の間をつなぐパイプ役としての役割と政策企画能力が問われる。
- ★ 議員の仕事の見直しをし、常に行革を進めていただきたい。



- ★ 若い世代が多可町に残りたい!と思うような政策を取ってほしい。
- ★ 議員が積極的に各種団体の会議などに参加してほしい。
- ★ 小中学生を対象にした親子で参加できる議会見学ツアーを夏休みなどにしては。

議会改革を進める

意見交換会では、議員定数や議員報酬の見直し、議会の透明性や情報公開の向上、住民参加の促進など、さまざまな課題や改善点についての意見をお聞きしました。

皆さんからいただいた意見は、私たち議員にとって非常に重要な指針となります。

これらの意見を真摯に受け止め、具体的な行動につなげていきます。議会改革を推進するため、住民と共に歩み、より良い多可町の未来を創り上げるために努力します。

今後も、議会改革の進捗状況や取り組みについて、定期的に報告します。

また、意見交換会で寄せられた意見に対する具体的な対応や成果も、住民の皆さんにお伝えする予定です。

議会を

議会改革意見交換会

住民の意見が輝く、新しい議会のはじまり

多可町議会ではより透明性の高い、住民参加型の議会を目指し議会改革に取り組んでいます。その一環として、テーマを決め、皆さんからの貴重な意見や提案をお聞きするための「議会改革意見交換会」を開催しました。

テーマは「議員のなり手不足」「議員定数・報酬」「住民に関心を持つてもらえる議会」で、3会場で開催しました。

① 5月11日(木) 八千代プラザ
② 5月13日(土) ベルディーホール
③ 5月16日(火) 加美プラザ

3人の小グループに分かれて活発な意見交換をしていただき、議員が意見をまとめて発表しました。



白熱する議論

議員のなり手不足

議員に立候補する人が少なく、選挙しても候補者が足りないことがあります。

● 議員報酬は安すぎで、兼業しないと生活が維持できない金額である。

● 若手の意欲ある人も議員報酬が安いので議員になるのをあきらめる。

● 選挙にでたくても家族などの協力を得ることが難しい。

議員定数

● 議員定数は14人から12人に減らすべき。

● 議員定数14人でよい。減らしたら住民の声が届きにくくなる。

● 増やした方がよい、さまざまな年代の人の声が必要。

● 議会活動が今の人数が適正なのか否かは、議員自ら声をあげよ。

議員報酬

● 議員報酬21万5千円では生活が維持できない。

● 現役世代が生活できる額、報酬を上げるべき。住民の役に立っていれば問題ない。

● 定数を減らし、給料を上げる。定数10人、報酬30万円以上。

● 会議、委員会出席時の費用弁償が必要。

● 議員報酬は今の活動状況では、この金額で良い。



女性もおおいに語る

住民に関心を持ってもらう議会

● 本会議だけでなく、各委員会も放映すべき。

● HP、SNSでもっと情報発信を。

● 日曜・夜間議会もやってみることも必要。

● 住民が関心を持つている事を議会でも議論すべき。

● 高校生議会だけでなく、小学生、中学生議会もやってみては。

共に支え、笑顔を育む 6月補正

令和5年6月2日から6月23日までの22日間の日程で、第122回多可町議会定例会が開催されました。

定例会では、地方創生臨時交付金を活用した生活支援給付金、集落公民館改修の助成金などの補正予算や、コミュニティプラザの施設利用料の改正、国民健康保険税の課税限度額の引き上げなどの条例改正案が提出されました。

その他ベルディーホールの工事契約を含む17案件が上程され、慎重審査の結果、全ての議案を可決しました。

暮らしを守り支える！

非課税世帯に特別給付金 900万円

電力・ガス・食料品などの価格高騰での負担増を考慮し、特に家計への影響が大きい非課税の世帯に価格高騰緊急支援金を給付します。

Q 給付金額はいくらですか。

A 1世帯につき3万円です。

Q いつからの支給になりますか。

A 7月20日から振り込みをします。

福祉とこどもの未来を守る

福祉施設の物価高騰支援金 1067万円

光熱費や食料費が高騰するなか、社会福祉施設などが安定したサービスを提供できるように、地方創生臨時交付金を活用して、一時支援金を給付します。

Q 支援金額はどれくらいですか。

A 入所施設は定員一人あたり7500円、通所系事業所は1800円、訪問系事業所は一事業所1万5千円です。

こども園に光熱費の高騰対策 308万円

物価高騰の影響を受けているこども園などに、光熱費や食料費の価格上昇分の一部を支援し、保育施設の継続的・安定的なサービス提供を支援します。

Q 支援金は認可定員で算出するより、在籍する人数で算出すべきではないですか。

A 県補助に町の支援分を上乗せして支給する予定としますので、県の補助基準である認可定員で額を決めています。

人と猫が共に暮らせるまち

去勢手術補助金 15万円

地域の住民が主体となり、野良猫に不妊去勢手術をするなど適切な管理を行い、野良猫の数を減らすことで野良猫問題を解決し、住みよい地域をつくりまします。

Q いくらの補助が出るのですか。

A 一匹につき不妊去勢手術に5千円補助します。



新しい家族のもとへ

Q 3月の当初予算が15万円でした。なぜもっと金額を増やさなかったのですか。

A 主に市原地区の10数匹を想定して利用がありました。地域活動をされている「さくら猫の会」で調査してもらったと、対象の猫が非常に多いことが分かり、緊急を要する集落も出てきました。

当初予算の実績見込みを大幅に超える要望が出たため、増額しました。

多彩な拠点づくりを応援

活気あふれる場所を創る

コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、活力ある地域づくりなどに助成します。地域のコミュニティ活動を充実・強化し、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上につなげます。

集会所の修繕 750万円

集落からの要望に対し助成します。三谷・山口・箸荷の3集落です。



山口集会所

地域防災組織助成金 180万円

杉原集落の防災活動に必要な設備などの整備です。

QAQ 助成金額は。 1集落250万円です。

QAQ 改修の内容は。 バリアフリー化や電灯のLED化、空調設備の更新などです。高齢者や体の不自由な人にも使いやすい施設にします。

Q どのようなものが購入できるのですか。

A 防災用品を収納する倉庫、テント・トイレセットや発電設備などです。その他ヘルメットなどの備品も購入できます。

地域の医療を守る 医師を募集中

八千代診療所 代診医派遣 821万円

八千代診療所の医師不在が続いています。地域の医療を守るため、西脇市民病院・多可赤十字病院に代診をお願いしていますが、まだ医師が決まっていないので、代診期間を延長します。

Q 医師募集の状況はどうですか。

A 6月末まで募集していますが、期間延長も考えています。

議会は提言する

コロナ禍を乗り越え、多可町も未来に向けて再出発です。財政の厳しい状況を克服するため、地域経済の振興と持続可能な成長を目指す必要があります。

地域の活性化に向けて、新たな産業の育成や地域資源の活用、観光の振興などに注力します。同時に、住民の安心と幸福を守るため、福祉や医療、教育などの充実にも取り組みます。

多可町議会では地域の魅力を最大限に引き出すために、コミュニティの結束を強化し、住民参加型の政策づくりを推進し、より強く、より豊かな未来へと歩む努力をします。

歳出 5月・6月補正予算			
款	5月	6月	補正後の額
議会費		▲162万円	9955万円
総務費	1億2345万円	▲708万円	23億122万円
民生費	1328万円	2691万円	34億6393万円
衛生費		▲490万円	11億1082万円
農林水産業費	180万円	84万円	7億6459万円
商工費		▲119万円	2億3918万円
土木費		▲402万円	10億7027万円
消防費		132万円	5億4575万円
教育費	350万円	1874万円	10億9663万円
歳出合計	1億4203万円	2901万円	125億7563万円
特別会計合計		671万円	63億6379万円

* 予算金額は補正のあった科目のみです。合計は現予算の総計です。

3割の特典で地域経済を活性化



これに3枚プラス

Q 何セット購入できますか。
A 一世帯に5セットまで購入できます。

Q 地域に類を見ない3割のプレミアムがつきます。
A 他地域に類を見ない3割のプレミアムがつきます。8月28日から販売します。1万円から1万3千円のお買い物ができます。

とってもお得な商品券発売

令和5年5月12日に多可町議会臨時会が開催され、一般会計補正予算や工事請負契約の締結、条例改正2件が上程され、審議の結果、全ての議案を原案通りに可決しました。

プレミアム付商品券 5950万円

Q 申し込みはどのように入りますか。
A 申し込みは、多可町商工会に申し込みます。後日、引換券を郵送します。令和6年2月27日まで使用できます。

なごみの里のエアコン更新

Q 180万円
A なごみの里山都のレストランのエアコンの一部が、経年劣化で修理部品などが調達できないので、機器の更新を実施します。

住民税非課税世帯 特別給付金 6395万円

Q 申請が必要ですか。
A 申請が必要ですが、対象となる可能性のある方に関係書類を郵送しますので、その内容をご確認ください。

Q 振込はいつから開始しますか。
A 7月20日から振り込みを開始します。

低所得の子育て世帯を支援 1328万円

Q 低所得の一人親世帯以外の住民税均等割が非課税の子育て世帯が対象です。
A 対象児童一人あたり5万円を給付します。

賛成討論

地方創生交付金で生活支援を

藤本 一昭
 地方創生臨時交付金を財源として、物価高騰での生活支援をするために多可町プレミアム付商品券事業と、家計への影響が大きい低所得の世帯に3万円を給付するものであり、評価できます。

まちづくりプラザ 準備進む

Q 解体工事は、いつまでですか。
A 9月末までに完了します。

条例改正

電動キックボードの課税を明確化

税条例の一部改正

特定の原動機付自転車に新たな区分が設けられました。

Q 具体的に何が課税対象になりますか。
A 特定小型原動機付自転車の区分が新設され、該当する製品に対して2000円を次年度から課税徴収します。

Q 電動キックボード購入者は、ナンバープレートとの交付申告をするのですか。
A 役場の税務課に申告が必要になります。

コロナ5類で勤務手当が廃止

職員特殊勤務手当支給条例の一部改正

コロナ感染症が、感染法上の第5類に変更されたことに伴い特殊勤務手当を廃止します。

Q 3年間にどれくらいの支給をしましたか。
A 診療所の医師および看護師に506日分を支給しました。

Q 医療従事者以外に支給をしましたか。
A 支給対象者はありませんでした。



スピードを守ってスイスイ

国保税は上がるのですか

国民健康保険税 条例の一部改正

国民健康保険税の課税限度額および軽減判定所得の基準額を引き上げました。これにより低所得の世帯の負担を軽減します。

Q 昨年度に引き上げられた国保税率は据え置きですか。
A 令和5年度は据え置きとします。

中プラザの料金設定

コミュニティプラザ 条例の一部改正

中プラザの利用料金を決めました。

Q 新たにどの部屋を貸し出しますか。
A 第1会議室、第2会議室です。

ベルディーホール 舞台改修

工事請負契約締結 9020万円

舞台の吊りものの更新や修繕を実施します。
 工事業者 三精工事サービス株式会社
 工期 令和5年6月2日から令和6年3月22日

Q 工事期間にベルディーホールは、使えないのですか。
A 工事期間は、ホールのみ使用できません。

Q 工事はいつからですか。
A 来年の1月中旬から3月を予定しています。

第121回 多可町議会臨時会 賛否の公表

番号	案件名	足立吉継	藤原清勝	市位裕文	大山由郎	橋尾哲夫	内橋志郎	清水俊博	門脇保文	吉田政義	日原茂樹	藤本一昭	廣畑幸子	門脇教蔵	笹倉政芳
承認第1号	専決処分の承認(多可町税条例一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第36号	多可町立運動施設条例一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第37号	多可町都市計画公園条例一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第38号	令和5年度多可町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第39号	工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○印は賛成、×印は反対、欠印は欠席。賛否同数の場合は、笹倉議長が裁決します。

第122回 多可町議会定例会 賛否の公表 (全員賛成の議案は除く)

番号	案件名	足立吉継	藤原清勝	市位裕文	大山由郎	橋尾哲夫	内橋志郎	清水俊博	門脇保文	吉田政義	日原茂樹	藤本一昭	廣畑幸子	門脇教蔵	笹倉政芳
議案第41号	多可町税条例一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第51号	工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○印は賛成、×印は反対、欠印は欠席。賛否同数の場合は、笹倉議長が裁決します。



大山由郎 議員

Q. 子どもの安全を最優先に

A. 毎月安全点検を実施



安全に登校

Q 学校の施設や設備が原因の事故が多く起きています。子どもたちの安全を最優先とした学校の安全点検は十分ですか。

教育長 毎月校内安全点検を実施し、事故の未然防止に努めています。

Q 教師の長時間労働は深刻な状況で、教育活動だけでなく、子どもと向き合う時間的余裕も必要です。学校の「働き方改革」は進んでいますか。

教育長 統合型校務支援システムの有効活用業務の精選など、効果的な取り組みを進めています。学校と教育委員会の連携で少しずつ進んでいます。

Q 教育力の向上、教育活動の充実に向け、学校と地域の連携の推進が必要です。

教育長 中学校での学校評議員制度、小学校のコミュニティスクールの活用しています。地域・関係機関と連携して支援の充実につなげます。

Q. 地域共生社会の取り組みは

A. 協働して助け合う社会を目指す



門脇教蔵 議員



地域共生社会に取り組む

- コークゼミ -

Q 地域のつながりが希薄化しています。「我が事」「丸ごと」の包括的総合相談の体制を進めるため4月より「地域共生社会づくり担当参事」が設置されました。

町長 地域共生社会に対する取り組みは、少子高齢化などで地域とのつながりも希薄化が進み、相互扶助を期待することは難しくなっています。住民皆さんがそれぞれの役割を持ち、支え

合いながら自分らしく活躍する地域コミュニティを育成し、助け合える地域共生社会を目指します。

Q 共に生きるために必要なことは何ですか。

担当参事 お互いのことを理解し、それぞれの役割と責任を自覚しつつ、主体的に取り組むことにより、誰もが他の人を支えながら、相互に作用し合う暮らしやすい共生社会を創っていくことです。

ここが聞きたい!!

議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。

熱気あふれる発言の散々は、たがTVやYouTubeでもご覧いただけます。

議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに町長と教育長に方針を問います。

全文は多可町議会ホームページを検索



質問議員	質問趣旨	掲載ページ
大山由郎	子どもの安全を最優先に	9
門脇教蔵	地域共生社会の取り組みは SDGsの取り組みは(未掲載)	
橋尾哲夫	八千代診療所の医師 早期採用を 多可町翠明湖マラソンを再開せよ(未掲載) 加西・多可健幸アプリの登録者を増やせ(未掲載)	10
吉田政義	チャットGPTの検討・研究は	11
藤本一昭	認知症対策に神戸モデルを アフターコロナの役場・学校の対応は(未掲載) GIGAスクールのコンピュータの利活用の状況は(未掲載)	
廣畑幸子	コミュニケーション能力の向上を エーデルささゆりの施設の充実を(未掲載)	12
門脇保文	まちづくりプラザは未来を見据えた施設に 教育レベルの向上を目指せ 数学オリンピックを開催せよ(未掲載)	
清水俊博	増加する買い物弱者対策に総力を 「熱中症」から児童生徒、住民を守れ!(未掲載) 交通事故から住民を守れ!(未掲載)	13
藤原清勝	町道交差点の事故防止対策を 公文書作成における、管理チェック体制は機能しているか(未掲載)	
内橋志郎	統合中学校でできる跡地施設は 解体撤去の起債活用は、慎重に(未掲載) 高校入学支援金支給制度運用の分断線は(未掲載)	14
足立吉継	播州百日どりへの町の支援は AED普及推進計画をさらに進めよ(未掲載)	
市位裕文	多可町友好交流の促進	15
日原茂樹	DXを推進せよ デジタル全盛の今こそ子どもたちに読書を(未掲載)	



藤本一昭 議員

Q. 認知症対策に神戸モデルを A. 認知症の人も地域社会で生活を



笑顔で暮らせる

Q 認知症になっても安心して暮らしていける神戸モデルがあります。多可町でも導入できませんか。

町長 認知症の人が起因する事故などの救済制度は非常に先進的な取り組みです。本町の認知症に関する施策では、神戸市と同様にはできませんが、「はつらつ検診」で認知症検査を無料で行っています。認知症施策には、認知症の人の意識や意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らせる地域共生社会を目指します。

本町にはどのような政策がありますか。

このモデルは、自己負担なしで医療機関での認知症診断を受けることができます。そして診断された人は、市が損害賠償保険に加入して支援します。仮に事故に遭った場合、見舞金の支給と損害賠償金支給を保証する制度です。



橋尾哲夫 議員

Q. 八千代診療所の医師 早期採用を A. 医師確保に取り組んでいる



医師確保が待たれる - 八千代診療所 -

Q 八千代診療所の医師が、本年3月31日をもって体調不良のため退職されました。現在、西脇病院・多可赤十字病院の医師派遣で週2回診察に来てもらっています。行政側も威信をかけて医師確保に努力されています。

町長 現在、医師の常時対応が不可能になっています。八千代診療所は地域の安全・安心を担う重要な施設です。西脇病院や多可赤十字病院の代診医の派遣協力を得て、4月以降月曜日・木曜日・土曜日（隔週）で業務を続けています。既に医師確保に向けて求人募集をし、県医療事務課などに協力を得ながら医師確保に取り組んでいます。

八千代区住民の健康を守るためにも早急に正規医師を採用することが必要です。

Q. コミュニケーション能力の向上を A. 子どもたちの様子を観察して対応



廣畑幸子 議員



楽しくおはなし中

Q 新型コロナウイルスが第5類になり、生活が元に戻りつつあります。しかし、マスク生活を続けた子どもたちのコミュニケーション能力はどうでしょう。低下は招かなかつたのでしょうか。

教育長 マスクは、小学校では外してありますが、中学校では授業中など基本的に着用している生徒がほとんどです。しかし、小・中学校の教職員は、マスクを外し、表情豊かに教育活動に取り組んでいます。子どもたちの、コミュニケーション能力低下の指摘があることは承知しています。5年後10年後を見据え、慎重に観察して対応していきたいと考えています。

顔の表情が分からないことは、子どもたちの発達に影響を与えているとも聞きます。心配なことはないでしょうか。勉強も大事ですが、人間形成もとても大事です。

Q. チャットGPTの検討・研究は A. 利用価値とリスクの研究を進める



吉田政義 議員



Q インターネット上の膨大なデータを学習し、利用者が入力した質問や指示に人工知能（AI）が文章などで答える自動応答ソフト（チャットGPT）を使った会話型コンピュータプログラムが今話題となっています。自然な対話ができることに注目が集まり、業務の効率化に役立つと期待されています。一方、個人情報流出や使う人の思考力低下を懸念する声もあります。

チャットGPTを導入するか否かは別にして、検討・研究を進めていくべきだと思います。町の見解を伺います。
町長 チャットGPTなど一般的に新しい技術は開発の振興、利活用の推進、適切な規制の観点から重要と考えています。今後、国・県や他市の町の動向を注視し、セキュリティ対策やガイドラインの確立を検討し、利用価値とリスクの研究を進めます。



藤原清勝 議員

Q. 町道交差点の事故防止対策を A. 危険箇所の実情把握に努める



左右確認が大事

Q 5月に町道東山3号線と安楽田4号線の交差点で事故がありました。ここは見通しの良い所で注意を促す標識があっても事故が起きます。これはコリジョンコース現象です。

町長 この箇所は平成29年度に公安委員会の指摘を受け交差点巻き込み線の引き直し、交差点明示のドット表示、中央線の引き直しなどの安全対策を実施しました。

町長 また標識や減速帯を設け、信号のない交差点で十分に減速し、左右確認の運転者意識を高める事が重要と西脇警察署からも指摘されています。今後とも危険箇所の実情把握に努め、安全安心な交通の確保に努めます。



門脇保文 議員

Q. まちづくりプラザは未来を見据えた施設に A. 十分に検討している



まちづくりプラザ イメージ図

Q 生涯学習まちづくりプラザ内の図書館では、車椅子同士が行き来できるスペースが確保されていますか。

町長 車椅子と歩行者が行き来できるスペースを確保しています。

町長 ICチップで書籍管理をすべきだと思いますが。

町長 ICチップの書籍管理は、貸し出し受付の時間短縮や蔵書管理の効率化ができることから導入を計画しています。

町長 図書館内にはWi-Fi通信網で、電子図書やZoomでの会話や会議などができるような貸し出しタブレットの導入は検討されていますか。

町長 貸し出しタブレットは、調査研究などを目的に館内利用することを前提に検討します。

Q. 統合中学校でできる跡地施設は A. 内部で検討を進める



内橋志郎 議員



有効活用で地域活性化

Q 用途廃止が決まっているのに早急に進めるべきでは。

町長 内部での検討や情報を収集しています。

Q 中町中学校で残されるのは。

財政課長 体育館は引き続き利用します。

Q 加美中学校、八千代中学校の校舎、体育館、運動場と三つを分離して検討は。

財政課長 一体の敷地であり、分離は難しい。

Q 加美区、八千代区の人々や、地域協議会、また、区長会に意見を聞くことは。

財政課長 内部協議の上で方向性を決めていきます。

Q タイムスケジュールは。

財政課長 具体的には統合中学校開校以降に。

Q 再配置計画を見直すべきでは。

財政課長 ケースバイケースで柔軟に進めていきます。

Q. 増加する買い物弱者対策に総力を A. 庁舎内で検討



清水俊博 議員



町内をまわっています

Q 「集落から食料品店が消えた」買い物弱者対策が急ぎ必要です。

町長 国では「最寄りの食料品店まで500メートル以上離れ、運転免許証を持たない人」を買い物弱者と定義しています。

町長 町でも高齢者やハンディを抱えておられる人が、移動手段を持たずに買い物に行けない状況にあります。現状や支援策は。

町長 「移動販売車」の導入など組織横断的な取り組みはいかに。

町長 少子高齢化、家族構成など社会構造の変化に伴い、買い物弱者が顕在化しつつあることを認識しています。

町長 今後、交通網形成計画など、地域共生社会づくり担当を中心に各課で課題を共有し、急ぎ対応していきます。

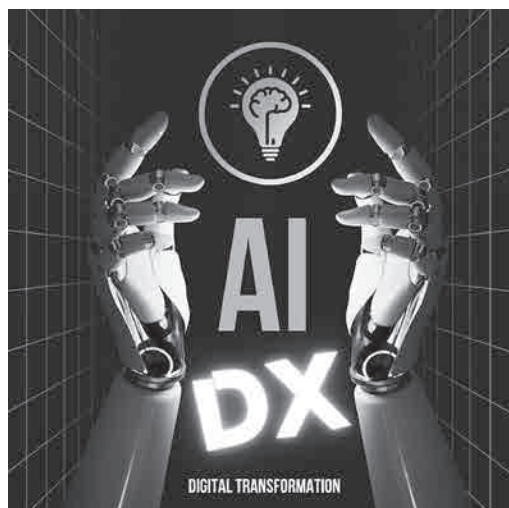
担当参事 八千代区にあった老舗商店も閉店し、窮状を認識しています。庁舎内で検討していきます。



日原茂樹 議員

Q.D Xを推進せよ

A.D X推進計画を策定



AIが世界を変える

Q デジタル技術の発展で、多様な情報発信や取得が可能になり、社会生活に大きな変化が起きています。多可町も少子高齢化や人口減少に直面し、デジタル化を進める必要があります。そのためには専門人材の採用と育成、チャットGPTなどの活用が重要であり、DX推進計画の策定が必要です。デジタル化を通して利便性向上と業務の効率化をし、町の発展と豊かな生活の実現につ

なげる必要があります。**町長** DX推進のためにIT人材の確保と育成に注力し、経験者の採用も検討します。職員のIT技術研修に加え、新たな技術の有効活用に向けた研修を実施します。チャットGPTの利用はリスクと理解を深める必要があります。今年度中にDX推進計画を策定し、業務効率化・行政サービス向上と新たな価値創出に取り組みます。



足立吉継 議員

Q. 播州百日どりへの町の支援は

A. 国や県の補助事業を活用し支援する



百日どりはここから全国へ - JAみのり -

Q 播州百日どりが地鶏・銘柄鶏好感度コンテストで最優秀賞に選ばれました。さらに継続発展していくために後継者問題など、今後JAみのりと一緒にどのように取り組んでいきますか。**副町長** 北播磨特産鶏推進協議会で将来ビジョンを定め、後継者育成、労働環境の改善、農業高校へのアプローチなど新規就農者獲得に向けた取り組みをしています。

産業振興課長 移住希望者から新規就農の相談もあります。JAみのりと調整し、現在研修生として養鶏事業所で働いています。**Q** 加工場などの老朽化が進んでいます。施設更新には町として支援が必要ではないですか。**産業振興課長** 事業者が計画する播州百日どりを継続発展させるために必要な施設整備は、国や県の補助事業を活用して支援していきます。

議会を見よう

この機会に、ぜひ多可町議会公式ホームページをお訪ねください。過去の会議録やお知らせをご覧ください。

https://www.town.taka.lg.jp/takacho_gikai/



Facebookでは、委員会などでの議員たちの様子をご覧ください。

facebook



YouTubeでは、本会議での質問や発言をノーカットで公開しています。

YouTube



- 次回定例会の予定 -

9月定例会〈本会議の日程〉

初 日 9月 4日(月)
2 日 目 9月20日(水) 一般質問
3 日 目 9月21日(木) 一般質問
最 終 日 9月26日(火)

- 質問内容などは9月15日に議会ホームページに掲載します。
- 傍聴は役場4階へお越しください。
- 請願・陳情の提出は8月18日17時までにご提出ください。

*ご不明な点は議会事務局にお問合わせください。

議会だより読者モニター募集

楽しく読んでいただける議会だよりを目指し、ご意見をいただきます。



議会事務局
TEL 0795-32-4775
FAX 0795-32-4969
電子メール gikai@town.taka.lg.jp

「頷張ってるね」「美味しかったよ」
「応援してるよ」
「そうお客様から伝えていただく、おだてられて木に登る私です。」
(のりこ)

照れるねひと褒め

「ありがとう。感謝しているよ。」と毎日言ってくれる旦那さん。
それを見て育った子どもたちもいつも小さなことでも「ありがとう」と言ってくれます。
こちらこそいつもお手伝いしてくれてありがとうございます。そんなあなたたちが私の誇りです。
(萬浪 翼)

Q. 多可町友好交流の促進

A. 広く情報を発信する



市位裕文 議員

Q 多可町は鳥取県の若桜町と福井県の若狭町との間に、友好交流協定を結んでいます。若桜町へは議会視察で、若狭町へは観光交流協会で訪れる機会がありました。**宮城県**の村田町へも議会交流として、加古川市とは蛍交流事業で観光交流協会から参加しました。この市町を訪れる機会があります。

今後は教育委員会や観光交流協会と連携し、広く情報を発信します。**町長** 若桜町には「桜まつり」や「鬼っ子まつり」があり、若狭町には「ツーデーマーチ」があり、参加をしています。両町からは、多可町のふれあいまつりに参加していただいています。今後の展望をお聞かせください。



タカレンジャーも参加

障がいのある人を支援できる施設

令和5年4月27日に「開拓松葉園」と「ささゆりふれあいセンター」へ調査に行きました。

文教ふくし常任委員会



施設の現状を聞く

「開拓松葉園」は、昭和48年に「手をつなぐ育成会」が運営母体になり、中在宅心身障害者（児）小規模通所施設として、活動されてきました。定員10人のところ、令和2年には、2人の利用となり閉鎖されています。今後のことなどを含め状況確認に行きました。

Q 閉鎖となった理由は、作業内容が利用者のニーズに合わなかったのが要因です。

A 作業内容が利用者のニーズに合わなかったのが要因です。

Q 利用者がいまませんが、施設の活用は、多可町作業所連絡会の会議などで使用しています。また、緊急一時避難所になっています。トイレは車いすで入れます。

Q 事務所の有効活用として、グループホームにできませんか。

A まず、利用者があるかどうかの問題です。また、放課後デイの話も出ていますが、検討中です。

指定管理施設の在り方を探る

令和4年に民間譲渡された「ささゆりふれあいセンター」では、日中一時支援事業・就労継続支援B型事業を「あすなろの郷」で、生活介護事業を「びいす」でされています。

また、グループホームは「こもればの家」などニーズに合ったさまざまな事業を展開されています。

Q 何人ぐらいの人が利用していますか。また支援員は何人ですか。

A グループホームの5人を含め、約40人が利用しています。支援員は、ボランティアを含め30人います。

Q 活動内容はいろいろあると思いますが、

施設の有効活用に向けた取り組み

丁寧な仕事ぶり



Q 令和4年度からの新しい取り組みで「農福連携」として地域の業者と契約し、ピーマンを収穫し、箱詰めもしています。

A 就労継続支援B型の人生活介護の人も協力して作業しています。

障がい者と施設の明日を考える

指定管理施設「開拓松葉園」は現在閉鎖しています。今のところ再開に向けての案はないということです。

今までのように活動して欲しいのですが、このまま利用者がなければ、指定管理の取り消しも視野に入れて、検討せざるを得ない状態です。

「ささゆりふれあいセンター」はコロナ禍の影響などがある中で、利用者に迷惑をかけるようなこと、さまざまな工夫をして頑張っておられます。

障がい者福祉施設は、なくてはならない施設です。利用者が快適に日々の生活ができるよう、これからも状況把握に努めたいと思います。

地域間交流で学ぶ若桜町の取り組み 人口減少・少子化対策と観光交流の視点

総務まちづくり常任委員会 視察研修 令和5年5月9日

総務まちづくり常任委員会では友好交流協定を結んでいる、鳥取県若桜町を訪ね、観光交流、人口減少・移住定住、企業誘致、議員のなり手不足などの視察研修をしました。

若桜町

若桜町は面積が199.5 km²のうち森林が95%を占める町です。人口は3000人を切り、2人に1人以上が65歳以上の高齢者で少子高齢化に悩む町です。

多可町とは平成28年に「友好交流協定」を締結し、自治体同士の相互扶助や観光交流促進、災害時の相互応援を目的に関係を深めています。

平成19年に多可町よりSL C12が嫁入りしています。



少子化・移住定住

Q 生まれてくる子どもの数は、令和3年は2人、令和2年は6人です。コロナの影響を差し引いても、少子化に一段と拍車がかかっている状況で、どのような取り組みをされていますか。

A 令和4年3月に新たな町長が就任され、思い切った少子化、移住定住策が展開されています。町内に移住、定住された人が若桜町で家を新築される時、町内の事業者を活用すれば300万円、町外事業者なら150万円を補助します。

若桜鉄道

Q 若桜鉄道やSLを活用した魅力的な観光政策の展開は。

A SLに乗車することで、昔ながらのレトロな雰囲気を楽しんだり、沿線地域ごとのイベントが開催され、訪れる人々に特別な体験を提供しています。

若桜町の観光政策は、地域の魅力を最大限に引き出し、訪れる人々に感動と思い出を与えることを目指しています。



観光交流

Q コロナ禍の影響もある中、現在どのような取り組みを進めていますか。

A 氷ノ山エリア、若桜宿城下町の町並みや若桜鉄道などを活かした観光交流を進めています。

わかさ氷ノ山スキー場は3000人規模まで利用者が減っていましたが、コロナ禍の中、1万人規模まで回復しています。

町の未来をどう拓く

深刻な過疎化・高齢化に直面する若桜町で、貴重な意見交換の機会を得ました。

コロナ禍でも、密を避けた移住や地域観光への関心が高まる中、町の魅力を発揮するかがテーマでした。

視察研修を通して、人口減少や少子化対策、移住定住促進、観光振興などで有益なヒントを得ました。具体的な政策づくりに向けた取り組みを加速し、地域の未来を切り拓いていく研修でした。

委員会では若桜町の取り組みに共感し、共に協力をしながら、持続可能なまちづくりに取り組みます。交流を大切に、地域間の連携を深めながら、共に未来を築いていくために一層の努力を重ねていきます。

議員定数削減への挑戦

議会運営委員会では議会改革の一環で、兵庫県下の町議会でも最も議員数が少ない上郡町議会を訪れ、12人から10人に定数を削減された理由や、少人数での議会運営について意見交換をしました。

平成20年に16人から12人に定数を削減し、さらに平成29年3月には、12人から10人に定数削減しています。

Q 10人に削減されたのはどのような理由があったのですか。

A 県下12町の中でも、財政状況が最低水準であったため、行政側に財政改革を求める意味で、議員自らが議員定数の削減を提案いたしました。

Q 定数を削減される過程で、どのようなことが議員間で議論されましたか。

A 定数削減は、平成29年3月の定例会最終日の22日に議論されており、それに先立ち、3月21日に全員協議会で議員から意見が出され、追加議案として上程される旨の説明がありました。削減には議論が必要という意見が出される中で、翌日の議場表決に繋がったものです。

Q 住民に対してはどのように報告されたのですか。

A 個別の議員による報告会などで、削減が知れ渡ったと思われます。

Q 10人に削減されたことによるメリットは何があるのですか。

A 人数が少なれば深い議論ができるといわれていましたが、人数は別問題ではないかと思えます。メリットというか、定数削減による経費削減への影響はありました。

Q 10人に削減されたことによる課題や問題点を教えてください。

A 10人で2つの常任委員会を組織していますが、委員定数が5人ずつであり、この点は委員会を運営する点から見ても不安な点もあります。人数が多い方が多種多様な意見が出やすいです。



議員を減らすことでのメリットに加え、デメリットも感じました。議員定数削減は慎重に検討すべき課題です。ただし、議員の役割や責任の再評価、より効率的な議会運営の必要性を実感しました。

議員同士の連携やコミュニケーションの強化、業務の効率化に取り組むことで、デメリットを克服しながらより質の高い議会運営を目指すことが求められます。議員定数削減のデメリットにも真摯に向き合い、議会の改革を進め、多可町の発展と住民の幸福を追求する覚悟を持ち続けます。

自治功労者表彰受賞

令和5年5月29日、兵庫県町議会議長会がホテル北野プラザ六甲荘で開催され、町議会議員20年以上在職功労者として廣畑幸子議員が、また、町議会議員15年以上在職功労者として大山由郎議員が表彰されました。永年のご功績に敬意を表します。また、役員を選任が行われ多可町議会の笹倉議長が副会長に選任されました。



この度の榮譽を励みとし、なお一層の研究を重ね初心を忘れず志高く前に進みます。

全国町村議会
議長会表彰
大山由郎議員

兵庫県町議会
議長会表彰
廣畑幸子議員
長いようで短かった20年間、この経験を今後の活動に役立てていきます。

夢に向かってはばたく 生涯学習まちづくりプラザ



多可町産材をふんだんに使った施設

令和5年5月22日に公共施設等計画に関する特別委員会を開催しました。
担当課から生涯学習まちづくりプラザの進捗状況と、統合中学校の開校準備委員会の現状説明がありました。

いよいよ着工へ！
生涯学習
まちづくりプラザ

配置計画は
・まちづくりプラザは回遊性のある配置とします。住民のさまざまな活動を織物のように紡ぐことで、にぎわいのある街づくり拠点となるよう計画します。
・まちづくりプラザの北側に駐車場、南側に「みちひろば」を配置します。周辺施設と児童広場を一体利用とし、回遊性と活気ある人の流れをつくり出します。
・将来の統合中学校が整備される敷地南側に一体的な土地利用に配慮した外構計画とします。

計画進む 統合中学校

みんなの意見を
カタチに！

Q 基本設計は6月末に、実施設計は来年2月にでき上がる予定ですが、いつ現場の先生方に意見を聞かれるのですか。
A 学校が夏休みに入る8月に計画を説明し、意見をいただきます。
Q 想定浸水区域ですが、対策は万全ですか。
A 盛り土用土砂を搬入し、対策を実施します。

Q どのぐらいの量で、お金がかかるのですか。
A 12500㎡です。10トンダンプ3千台分です。流用土を活用するのでお金はかかりません。

統合中学校整備事業スケジュール

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	4	10	3	10	3	10	3	10	3
開校準備					統合中学校開校準備委員会				
建設計画			建設計画(9ヶ月)						
建設設計					建設設計(13ヶ月)・基本設計 R5.6末 ・実施設計 R6.2末				
建設工事						建設工事(18ヶ月) R7.12末			
諸手続					開発許可申請 R5.11末 確認申請等(各種条例届出含) R6.2末				

委員会

地域共生の実践者『じ〜ば』

事務局 藤井康男さん



誰もが支え合える素晴らしい地域を目指して

高齢者や障がい者など支援を必要とする人が、住み慣れた地域で、安心して暮らしていただける地域づくりに取り組まれている「じ〜ば」を訪ね、その取り組みを伺いました。

地域共生社会づくりのパイオニア

平成26年に中村町地域包括ケア研究会を立ち上げられ、多可赤十字病院の松浦尊磨元院長の指導の下、地域ケアを学ばれています。

この中から地域の課題を学ぶ「松中村塾」を開催され、さまざまな課題を地域で解決するNPO法人じ〜ばを平成28年に設立されました。

Q 現在、何人の会員で活動されていますか。
A 男性20人、女性16人の36人です。
Q 主な活動は。
A 高齢者や障がい者の病院や買い物送迎、多可赤十字病院でのボランティア、美化活動などです。

Q 送迎はどのような形でされていますか。
A 男性会員の車で、隣接する市町まで送迎します。1回につき500円頂いています。

Q 女性の活動は。
A 多可赤十字病院のリハケアセンターでのお手伝いや、病院内の美化活動です。
Q 他の取り組みは。
A 高齢者宅の樹木の剪定や清掃、ゴミ出し、簡単な修繕などです。

Q 多可町が取り組む地域共生社会づくりの中の活動は。
A コークゼミ基礎講座での活動内容の講演や、出前講座などで活動の輪を広げています。
Q これからの活動の課題は。
A 年老いても住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくりです。



「じ〜ば」総会風景

活動が地域に波及

「じ〜ば」の活動目的の一つが同じような取り組みをするグループの誕生でしたが、すでに八千代区で1つ、加美区でも1つ活動中で、さらに2つが立ち上げられる予定です。町にとって地域共生社会づくりのパイオニアであり、中心的な存在となっています。時代の変化に応じて人々が安心して暮らしていくためには「人や地域とのつながり」が絶対に欠かせません。そのつながりをしっかりと担っていただいています。

今回の表紙

ささのは さらさらのきばにゆれる おほしさま きらきら織姫と彦星のお話を聞きました。子どもたちの成長を願う「七夕の節句」遠いお空に思いを馳せ、短冊に願いを書きました。
 「みんな幸せになりますように」
 あさかこども園

高校生議会

8月18日(金) 午前9時30分から
 多可高校生が町政について質問します
 ぜひ議場で傍聴してください

編集後記

子どもたちにとっては待ちに待った夏休みです。思いっきり遊び、新たな経験を積み重ねることができるとは貴重な期間です。今年にはコロナ禍も明け、5年ぶりに夏まつりが開催され、花火も打ち上げられます。子どもたちが夏休みを充実させるためのさまざまなイベントや活動が計画されています。友達との思い出作りや自然とのふれあいを楽しむことができます。夏休みは子どもたちの冒険の時間です。夏休みを充実させ、笑顔と冒険の思い出でいっぱいにしてください。
 (日原)

議会広報編集特別委員会

- 委員長 吉田政義
- 副委員長 日原茂樹
- 委員 足立吉継
- 委員 市位裕文
- 委員 藤本一昭
- 委員 廣畑幸子
- 議長 笹倉政芳